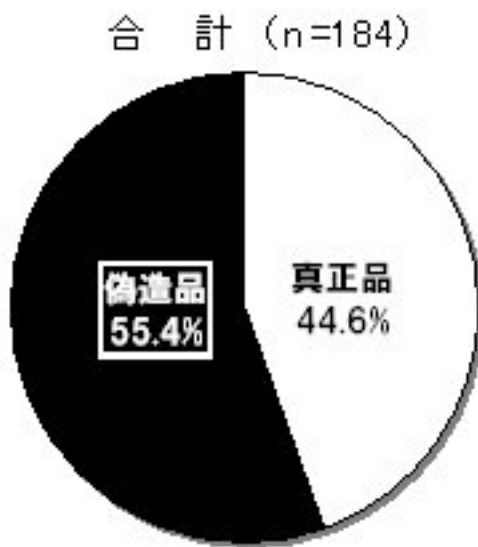


資料

今回の合同調査では、ED治療薬を日本およびタイの販売サイトから購入し、真正品と偽造品の鑑定を行い、また含有成分の分析を行いました。

1. ネット入手の約6割が偽造品： 国内外合計

ネットで入手したED治療薬は、国内外の合計で約6割が偽造品でした。

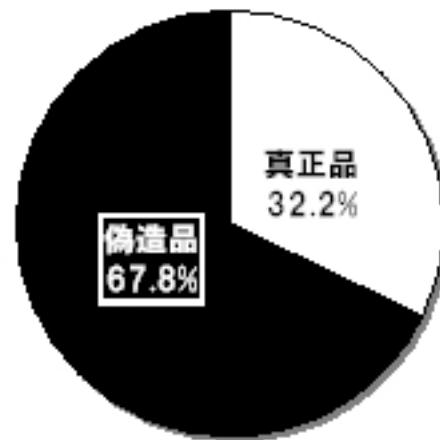
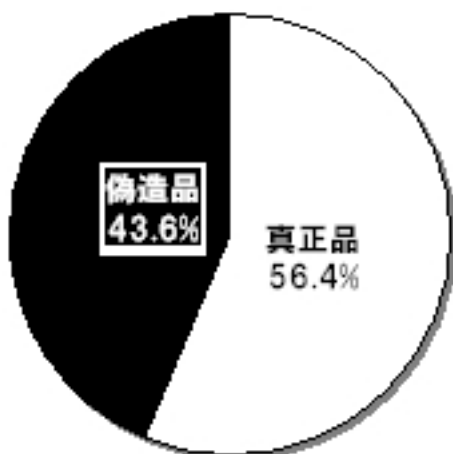


2. タイ国内発注分では約7割が偽造品

日本国内の調査では約4割、タイ国内の調査では約7割が偽造品でした。

国内で発注(n=94)

タイ国内で発注*(n=90)



*いずれの国の調査も、日本語で運営されている「個人輸入代行」サイトが対象。タイの場合は、日本人がタイ国内で発注し、タイ国内で商品を受領した。

3. まとめ

今回の調査により、ネットで入手するED治療薬には多くの偽造品が流通している実態がわかりました。これらの偽造品の成分分析結果、品質にはばらつきがあり、有効成分含有量が承認用量を超過あるいは不足、または全く含まれていないもの、他の成分あるいは複数の不純物が含まれるものが確認できました。

4. 偽造品の実態

今回、入手した各製品の偽造品の一部と真正品をお示し致します。偽造品の多くはこの様に外観で識別することは極めて困難です。

バイアグラ(海外製品 左下の箱のみ真正品)

レビトラ(海外製品 左:真正品、右:偽造品)



シアリス(海外製品 左:真正品、中央・右:偽造品)



【調査方法】

日本とタイ*の調査会社に依頼し、「バイアグラ」、「レビトラ」、「シアリス」を扱う(実質販売している)「個人輸入代行」業者のネットサイトから、1サイトごと各ブランド1サンプル(合計3サンプル)ずつ、合計各ブランド60サンプル(日本、タイで各々30サンプル)を目標に購入しました(結果的には未着分があり、各ブランドでサンプル数は異なっています)。その後、各社が各ブランドの真贋を鑑定し、含有成分の分析を行いました。

*タイを選定した理由は、日本人がタイで偽造医薬品を販売したとして起訴されている事件、ならびにタイから日本に偽造品を輸入し摘発された事件が、タイ、日本の両国で発覚しており、また、日本人がタイで偽造ED治療薬の販売に関与したり、日本人がタイで偽造ED治療薬を購入している事例が多く、真正品を製造している各社に報告されているためです。

今回発注したサイトは全て日本人向けに作成されており、言語は日本語、振込み先は日本になっています。今回の調査では調査員がタイを訪問している日本人を装い発注し、現地(タイ)の住所に送付された製品を鑑定しました。

*調査期間： 2008年12月～2009年4月